令　和　２　年　度

宝塚市一般会計及び
特別会計決算審査意見書

宝塚市監査委員

写

宝　監　第　６　３　号
令和３年（2021年）９月２４日

宝塚市長　山　﨑　晴　恵　様

宝塚市監査委員　徳　田　逸　男
同　　小　川　克　弘
同　　梶　川　みさお

令和２年度宝塚市一般会計及び特別会計決算並びに基金運用状況の審査意見書の提出について

地方自治法第２３３条第２項の規定により令和２年度宝塚市一般会計・特別会計歳入歳出決算及び附属書類並びに同法第２４１条第５項の規定により基金運用状況を審査した結果、その意見書を提出します。

令和２年度　宝塚市歳入歳出決算等審査意見

１　監査等の種類

決算審査及び基金の運用状況審査

２　審査の対象

令和２年度宝塚市一般会計決算

令和２年度宝塚市特別会計決算

令和２年度宝塚市基金運用状況

３　審査の概要

宝塚市監査基準に基づき、令和２年度一般会計・特別会計歳入歳出決算書及びその附属書類並びに基金運用状況報告書について、会計管理者及び関係部課が所管する諸帳簿と照合することを主眼としながら財政状況を分析するとともに、関係部課の責任者の説明を求めて慎重に審査しました。

なお、審査は広く行政監査的な視点にも留意して実施しました。

４　審査の日程

審査の期間　　：令和３年７月　１日から令和３年８月３１日まで

本審査実施日　：令和３年８月２６日から令和３年８月３１日まで

本審査実施場所：２－４会議室

５　審査の結果

計数的には正確なことを確認し、総括的には予算がおおむね適正に執行され、所期の目的を達成したものと認めました。

なお、決算の内容と意見等は次に述べるとおりです。

目　　次

第１　決　算　の　規　模

１　決　算　額　の　状　況 …… １

２　純　計　決　算　額 …… ２

第２　決　算　収　支

１　実　質　収　支　額 …… ４

２　実質単年度収支額 …… ４

第３　財　政　状　況

１　財　政　構　造 …… ６

２　歳　入　の　構　成 …… ８

３　歳　出　の　構　成 …… １０

４　増加一般財源の充当状況 …… １１

第４　資金収支（運用）状況 …… １３

第５　一　般　会　計

１　歳　入 …… １４

２　歳　出 …… ３０

第６　特　別　会　計

１　国民健康保険事業費 …… ４２

２　国民健康保険診療施設費 …… ４６

３　介護保険事業費 …… ４８

４　後期高齢者医療事業費 …… ５１

５　平　井　財　産　区 …… ５４

６　山　本　財　産　区 …… ５５

７　中　筋　財　産　区 …… ５６

８　中　山　寺　財　産　区 …… ５７
９　米　谷　財　産　区 …… ５８
10　川　面　財　産　区 …… ５９
11　小　浜　財　産　区 …… ６０
12　鹿　塩　財　産　区 …… ６１
13　鹿塩・東蔵人財産区 …… ６２
14　宝塚市営霊園事業費 …… ６３

第７　財　産　の　状　況 …… ６４

第８　基金運用状況 …… ６６

第９　む　す　び
１　決算の特徴及び財政状況等 …… ６８
２　意見及び指摘事項 …… ７３
３　ま　と　め …… ９１

決算審査資料 …… ９５

文中及び表中の表示について

１　文中に用いる計数は、原則として万円単位で表示し、表示単位未満は切り捨てました。

２　各比率の計数は、小数点第２位以下を四捨五入したので、その内訳と合計が一致しない場合があります。

３　表中の金額については、単位未満を四捨五入したので、その内訳と合計が一致しない場合があります。

第１　決算の規模

１　決算額の状況

当年度一般会計及び特別会計の決算の状況は、次表のとおりです。

（単位　円、％）

区　分	一般会計	特別会計	合　計
予算現額 (A)	110,754,672,606	51,140,399,000	161,895,071,606
歳入決算額 (B)	105,591,589,625	49,324,635,732	154,916,225,357
歳出決算額 (C)	103,614,796,104	47,738,575,675	151,353,371,779
歳入歳出差引残額(形式収支) (D)	1,976,793,521	1,586,060,057	3,562,853,578
翌年度繰越額 (E)	2,872,356,431	0	2,872,356,431
翌年度に繰り越すべき財源 (F)	463,404,156	0	463,404,156
実質収支額 (D)-(F)	1,513,389,365	1,586,060,057	3,099,449,422
不納欠損額	151,313,090	162,650,954	313,964,044
収入未済額	3,031,884,827	1,650,433,628	4,682,318,455
執行率 (B)/(A)	95.3	96.4	95.7
執行率 (C)/(A)	93.6	93.3	93.5
不用額 (A)-(C)-(E)	4,267,520,071	3,401,823,325	7,669,343,396

当年度決算規模は、歳入1,549億1,622万円、歳出1,513億5,337万円で、差引35億6,285万円の黒字となっています。

一般会計における歳入は1,055億9,158万円で、前年度より247億3,893万円（30.6％）、歳出は1,036億1,479万円で、前年度より238億5,322万円（29.9％）増加しています。差引残額は19億7,679万円の黒字で、前年度より8億8,570万円（81.2％）黒字が増加しています。

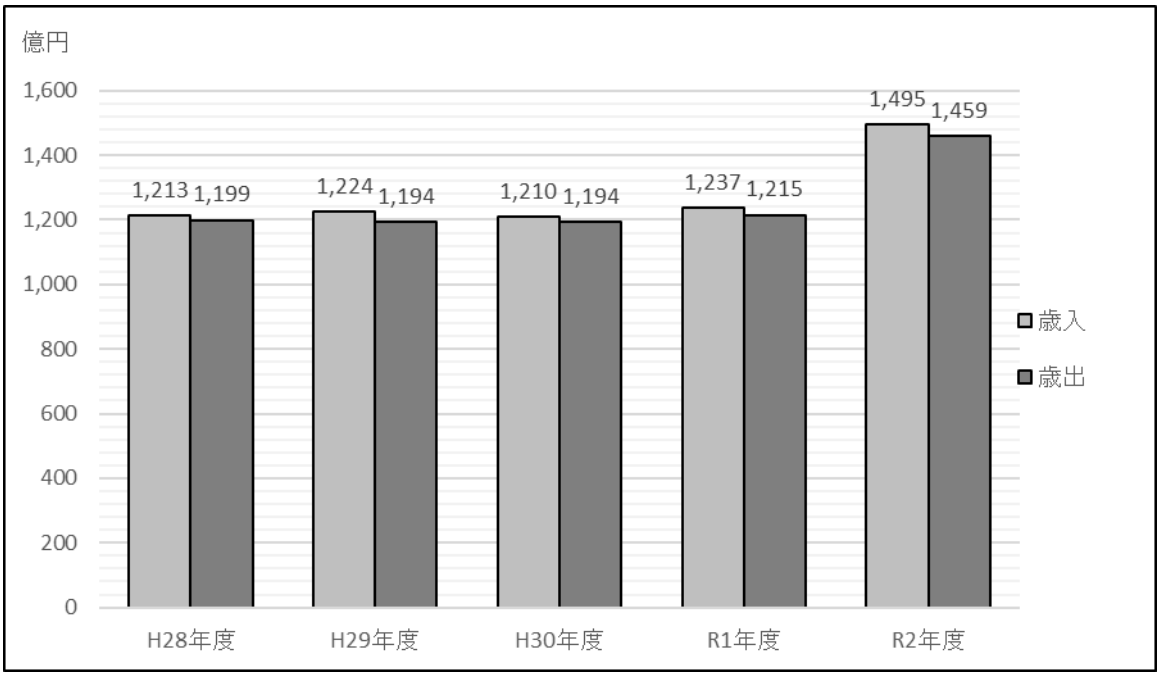
特別会計における歳入は493億2,463万円で、前年度より11億239万円（2.3％）増加し、歳出は477億3,857万円で、前年度より6億150万円（1.3％）増加しています。差引残額は15億8,606万円の黒字で、前年度より5億88万円（46.2％）増加しています。

一般・特別両会計を合わせた歳入は1,549億1,622万円で、前年度より258億4,132万円（20.0％）増加し、歳出は1,513億5,337万円で、前年度より244億5,473万円（19.3％）増加しています。差引残額は35億6,285万円の黒字で、前年度より13億8,659万円（63.7％）増加しています。

なお、当年度の不用額は76億6,934万円で、前年度より22億2,782万円（40.9％）増加しています。

2　純計決算額

純計決算額の推移は、次図のとおりです。



当年度決算額の中には、会計相互の繰入れ・繰出し（次頁の表参照）による重複額54億1,451万円が含まれているので、これを控除した純計決算額は、歳入1,495億171万円、歳出1,459億3,885万円です。これを前年度と比較すると次表のとおりです。

決算規模対前年度比較表

（単位　円、％）

区分＼年度		R1	R2	増　減	対前年度比　率
総計	歳　入	129,074,895,531	154,916,225,357	25,841,329,826	120.0
	歳　出	126,898,633,032	151,353,371,779	24,454,738,747	119.3
	差引残額	2,176,262,499	3,562,853,578	1,386,591,079	163.7
純計	歳　入	123,767,228,736	149,501,711,138	25,734,482,402	120.8
	歳　出	121,590,966,237	145,938,857,560	24,347,891,323	120.0
	差引残額	2,176,262,499	3,562,853,578	1,386,591,079	163.7

一般会計・特別会計相互間の繰入・繰出金状況

繰　出　会　計　名	金　額（円）	繰　入　会　計　名
一般会計	1,662,429,348	特別会計　国民健康保険事業費
一般会計	34,431,660	特別会計　国民健康保険診療施設費
一般会計	3,052,410,896	特別会計　介護保険事業費
一般会計	636,671,313	特別会計　後期高齢者医療事業費
一般会計	26,999,463	特別会計　宝塚市営霊園事業費
特別会計　国民健康保険事業費	1,134,000	特別会計　国民健康保険診療施設費
特別会計　平井財産区	91,736	一般会計
特別会計　山本財産区	5,034	一般会計
特別会計　中筋財産区	597	一般会計
特別会計　中山寺財産区	2,206	一般会計
特別会計　米谷財産区	291,957	一般会計
特別会計　川面財産区	35,007	一般会計
特別会計　小浜財産区	1,351	一般会計
特別会計　鹿塩財産区	6,623	一般会計
特別会計　鹿塩・東蔵人財産区	3,028	一般会計
合計	5,414,514,219	

第２　決算収支

１　実質収支額

（単位　円）

区　　分			一般会計	特別会計	合　計
歳入歳出差引額		(A)	1,976,793,521	1,586,060,057	3,562,853,578
繰翌越年財度源	継続費逓次繰越	(B)	44,134,000	0	44,134,000
	繰越明許費	(C)	419,270,156	0	419,270,156
	事故繰越し	(D)	0	0	0
	計 (B+C+D)	(E)	463,404,156	0	463,404,156
実質収支額		(A-E)	1,513,389,365	1,586,060,057	3,099,449,422
実質収支額のうち地方自治法第233条の2による基金繰入額			0	0	0

歳入歳出差引額は、一般会計で19億7,679万円、特別会計で15億8,606万円、合計35億6,285万円の黒字となっていますが、翌年度に繰り越すべき財源が一般会計で4億6,340万円ありますので、これを差し引いた実質収支額は、一般会計で15億1,338万円、特別会計で15億8,606万円、合計30億9,944万円の黒字となっています。

２　実質単年度収支額

（単位　円）

区　分		一般会計	特別会計	合　計
当年度実質収支額	(A)	1,513,389,365	1,586,060,057	3,099,449,422
前年度実質収支額	(B)	500,653,179	1,040,377,004	1,541,030,183
単年度収支額 (A)-(B)	(C)	1,012,736,186	545,683,053	1,558,419,239
財政調整基金積立額	(D)	252,139,877	490,668,379	742,808,256
財政調整基金取崩額	(E)	0	530,878,000	530,878,000
地方債繰上償還金	(F)	0	0	0
実質単年度収支額 (C)+(D)-(E)+(F)		1,264,876,063	505,473,432	1,770,349,495

一般会計においては、当年度実質収支額の中に前年度実質収支額の黒字5億65万円が含まれているため、これを差し引いた当年度の単年度収支額は10億1,273万円の黒字となります。ここに財政調整基金積立額2億5,213万円を黒字の要素とみなして算出した実質単年度収支額は12億6,487万円の黒字となります。

特別会計においては、当年度実質収支額の中に前年度実質収支額の黒字10億4,037万

円が含まれているため、これを差し引いた当年度の単年度収支額は5億4,568万円の黒字となり、ここに国民健康保険事業財政調整基金積立額4億9,066万円を黒字の要素、国民健康保険事業財政調整基金取崩額5億3,087万円を赤字の要素とみなして試算した実質単年度収支額は5億547万円の黒字となります。

この結果、一般・特別両会計を合計した実質単年度収支額は17億7,034万円の黒字となります。

第３　財政状況

１　財政構造

区分＼年度		H28	H29	H30	R1	R2
財政力指数	宝塚市	0.883	0.888	0.892	0.887	0.884
	類似団体	0.85	0.86	0.88	0.90	－
経常収支比率（%）	宝塚市	96.9	95.7	95.8	96.9	95.4
	類似団体	92.7	92.3	92.0	92.7	－
実質収支比率（%）	宝塚市	0.9	1.3	0.9	1.1	3.3
	類似団体	3.8	4.5	4.3	4.6	－

（注）総務省決算統計による普通会計の数値です。

類似団体の数値については「財政状況類似団体比較カード」によります。

当年度の財政力指数は0.884で前年度より0.003ポイント下降しています。

経常収支比率は、経常経費（人件費・扶助費・公債費等）に経常一般財源収入（地方税・譲与税等）がどの程度使われたかを見ることにより、団体の財政構造の弾力性を測定するものです。

当年度の経常収支比率は95.4％で、前年度から1.5ポイント改善しており、前年度の類似団体平均より2.7ポイント高くなっています。

実質収支比率は、標準財政規模に対する実質収支額の割合で示され、長期的な財政収支の均衡・健全性を表す指標で、当該団体の財政規模や当該年度の経済状況等に影響されるところが大きく、一概には言えませんが、一般的には、3％～5％程度が望ましいとされています。

当年度の実質収支比率は3.3％で、前年度より2.2ポイント好転しており、前年度の類似団体平均より1.3ポイント低くなっています。

また、市債、債務負担行為及び積立金の状況は、次表のとおりです。

（単位　千円、％）

区分	年度	H28	H29	H30	R1	R2
市債未償還額	一般会計	71,008,684	70,940,226	70,874,643	71,731,686	70,772,723
	特別会計	2,200,100	2,078,464	1,991,141	1,912,166	1,826,390
	計	73,208,784	73,018,690	72,865,784	73,643,852	72,599,113
	人口１人当たり（円）	312,428	311,673	311,459	315,251	311,780
実質公債費比率	宝塚市	4.4	4.1	3.7	3.6	3.7
	類似団体	5.2	5.0	4.2	3.6	－
債務負担行為額(普通会計)		15,826,013	15,753,811	20,273,930	15,801,963	17,021,614
積立金現在高	財政調整基金	5,177,048	5,333,098	5,617,154	5,408,183	5,660,323
	市債管理基金	245,583	245,667	245,746	245,835	245,907
	計	5,422,631	5,578,765	5,862,900	5,654,018	5,906,230

市債の年度末現在高は725億9,911万円で、前年度より10億4,473万円（1.4％）減少しています。

実質公債費比率は3.7％で、前年度よりも0.1ポイント悪化しています。この比率が18％以上になると地方債許可団体となり、25％以上になると起債制限団体となります。

翌年度以降に支出が予定されている債務負担行為の年度末現在高は170億2,161万円で、前年度より12億1,965万円（7.7％）増加しています。

積立金の年度末現在高は59億623万円で、前年度より2億5,221万円（4.5％）増加しています。

なお、市債の年度末現在高の内訳は次表のとおりです。

（単位　千円）

会計区分		前年度末現在高	当年度発行額	当年度償還額	当年度末現在高
一般会計		71,731,686	6,186,303	7,145,266	70,772,723
特別会計	宝塚市営霊園事業費	1,912,166	0	85,776	1,826,390
	計	1,912,166	0	85,776	1,826,390
合計		73,643,852	6,186,303	7,231,042	72,599,113

2　歳入の構成

普通会計における歳入の財源別内訳及び対前年度比較等は次表のとおりです。

（単位　千円、％）

区分		R1			R2			増減		類似団体（R1）	
		金額	人口1人当たり（円）	構成比率	金額	人口1人当たり（円）	構成比率	金額	増減率	人口1人当たり（円）	構成比率
自主財源	市税	35,899,554	153,677	45.2	36,186,790	155,405	34.7	287,236	0.8	164,445	44.1
	分担金及び負担金	966,024	4,135	1.2	669,009	2,873	0.6	△ 297,015	△ 30.7	3,583	1.0
	使用料及び手数料	2,232,714	9,558	2.8	1,951,024	8,379	1.9	△ 281,690	△ 12.6	7,057	1.9
	財産収入	326,005	1,396	0.4	299,900	1,288	0.3	△ 26,105	△ 8.0	2,135	0.6
	寄附金	740,337	3,169	0.9	810,815	3,482	0.8	70,478	9.5	1,266	0.3
	繰入金	979,669	4,194	1.2	417,842	1,794	0.4	△ 561,827	△ 57.3	8,564	2.3
	繰越金	837,764	3,586	1.1	1,091,086	4,686	1.0	253,322	30.2	11,285	3.0
	諸収入	1,574,614	6,741	2.0	2,094,327	8,994	2.0	519,713	33.0	11,103	3.0
	小計	43,556,681	186,455	54.9	43,520,793	186,902	41.7	△ 35,888	△ 0.1	209,438	56.1
依存財源	地方譲与税	406,169	1,739	0.5	411,633	1,768	0.4	5,464	1.3	2,625	0.7
	利子割交付金	48,006	206	0.1	50,587	217	0.0	2,581	5.4	136	0.0
	配当割交付金	310,697	1,330	0.4	283,429	1,217	0.3	△ 27,268	△ 8.8	800	0.2
	株式等譲渡所得割交付金	166,026	711	0.2	327,366	1,406	0.3	161,340	97.2	462	0.1
	法人事業税交付金	0	0	0.0	80,224	345	0.1	80,224	皆増	－	－
	地方消費税交付金	3,355,062	14,362	4.2	4,192,296	18,004	4.0	837,234	25.0	17,333	4.6
	ｺﾞﾙﾌ場利用税交付金	175,076	749	0.2	164,720	707	0.2	△ 10,356	△ 5.9	185	0.0
	自動車取得税交付金	83,314	357	0.1	25	0	0.0	△ 83,289	△ 100.0	519	0.1
	環境性能割交付金	23,468	100	0.0	47,411	204	0.0	47,411	皆増	153	0.0
	国有提供施設交付金	21,591	92	0.0	21,591	93	0.0	0	0.0	152	0.0
	地方特例交付金	573,379	2,454	0.7	234,326	1,006	0.2	△ 339,053	△ 59.1	2,615	0.7
	地方交付税	4,246,186	18,177	5.3	4,361,333	18,730	4.2	115,147	2.7	23,822	6.4
	交通安全対策特別交付金	28,241	121	0.0	31,063	133	0.0	2,822	10.0	147	0.0
	国庫支出金	13,666,681	58,504	17.2	39,607,309	170,095	37.9	25,940,628	189.8	59,992	16.1
	県支出金	5,988,164	25,634	7.5	6,059,582	26,023	5.8	71,418	1.2	25,547	6.8
	市債	6,755,565	28,919	8.5	5,026,273	21,586	4.8	△ 1,729,292	△ 25.6	29,168	7.8
	小計	35,847,625	153,455	45.1	60,899,168	261,534	58.3	25,051,543	69.9	163,656	43.9
合計		79,404,306	339,910	100.0	104,419,961	448,435	100.0	25,015,655	31.5	373,094	100.0

普通会計の歳入決算額は1,044億1,996万円で、前年度より250億1,565万円（31.5％）増加しています。

これを自主財源及び依存財源の別で見ると、自主財源の決算額は435億2,079万円で、前年度より3,588万円（0.1％）減少し、依存財源の決算額は608億9,916万円で、前年度より250億5,154万円（69.9％）増加しています。また、歳入総額に対する構成比率は、自主財源が41.7％、依存財源が58.3％で、自主財源の構成比率は前年度より13.2ポイント低くなっています。

自主財源の主なものは、市税が361億8,679万円で歳入総額の34.7％、使用料及び手数料が19億5,102万円で同じく1.9％をそれぞれ占めています。

依存財源の主なものは、国庫支出金が396億730万円で歳入総額の37.9％、県支出金が60億5,958万円で同じく5.8％、市債が50億2,627万円で同じく4.8％、地方交付税が43億6,133万円で同じく4.2％をそれぞれ占めています。

次に、経常的収入と臨時的収入について見ると、次表のとおりです。

（単位　千円、％）

区　分		R1		R2		増　減	
		金　額	構成比率	金　額	構成比率	金　額	増減率
経常的収入		62,856,439	79.2	64,282,853	61.6	1,426,414	2.3
	一般財源	42,481,334	53.5	43,583,440	41.8	1,102,106	2.6
	特定財源	20,375,105	25.7	20,699,413	19.8	324,308	1.6
臨時的収入		16,547,867	20.8	40,137,108	38.4	23,589,241	142.6
	一般財源	8,762,932	11.0	8,914,575	8.5	151,643	1.7
	特定財源	7,784,935	9.8	31,222,533	29.9	23,437,598	301.1
合　計		79,404,306	100.0	104,419,961	100.0	25,015,655	31.5

経常的収入は642億8,285万円で、前年度より14億2,641万円（2.3％）増加しています。

これは主に、経常的一般財源においては地方特例交付金が3億3,905万円（59.1％）、自動車取得税交付金が8,328万円（100.0％）、配当割交付金が2,726万円（8.8％）減少したものの、地方消費税交付金が8億3,723万円（25.0％）、地方税が2億7,254万円（0.8％）、地方交付税が1億6,796万円（4.3％）増加しており、経常的特定財源においては分担金及び負担金が3億96万円（31.2％）、使用料が2億8,327万円（19.6％）、手数料が1,605万円（4.7％）減少したものの、国庫支出金が4億9,107万円（4.3％）、県支出金が4億507万円（7.9％）増加したことによるものです。

臨時的収入は401億3,710万円で、前年度より235億8,924万円（142.6％）増加しています。

これは主に、臨時的一般財源においては繰入金が4億1,169万円（99.9％）、地方債が2億7,761万円（8.7％）減少したものの、諸収入が5億6,259万円（170.4％）、繰越金が2億4,144万円（64.1％）、寄附金が1,921万円（2.7％）増加しており、臨時的特定財源においては、地方債が14億5,167万円（40.8％）、県支出金が4億209万円（47.8％）減少したものの、国庫支出金が254億3,370万円（1,222.3％）、寄附金が5,125万円（185.4％）、使用料が1,268万円（638.1％）増加したことによるものです。

経常的収入と臨時的収入の構成比率は、経常的収入が61.6％（前年度79.2％）、臨時的収入が38.4％（前年度20.8％）となっています。

また、一般財源と特定財源の構成比率は、一般財源が50.3％（前年度64.5％）、特定財源が49.7％（前年度35.5％）となっています。

3　歳出の構成

普通会計における歳出の性質別内訳及び対前年度比較等は次表のとおりです。

（単位　千円、%）

区　分		R1			R2			増　減		類似団体（R1）	
		金　額	人口1人当たり（円）	構成比率	金　額	人口1人当たり（円）	構成比率	金　額	増減率	人口1人当たり（円）	構成比率
消費的経費		54,913,988	235,072	70.2	80,808,601	347,035	79.0	25,894,613	47.2	239,467	66.4
	人件費	15,012,937	64,266	19.2	16,605,581	71,313	16.2	1,592,644	10.6	56,972	15.8
	物件費	11,370,034	48,672	14.5	10,469,815	44,963	10.2	△ 900,219	△ 7.9	52,687	14.6
	補助費等	6,752,364	28,905	8.7	30,905,353	132,724	30.3	24,152,989	357.7	32,553	9.0
	その他	21,778,653	93,229	27.8	22,827,852	98,035	22.3	1,049,199	4.8	97,255	27.0
投資的経費		8,001,798	34,254	10.2	5,369,586	23,060	5.2	△ 2,632,212	△ 32.9	46,675	12.9
	普通建設事業費	7,919,215	33,900	10.1	5,369,586	23,060	5.2	△ 2,549,629	△ 32.2	46,035	12.8
	災害復旧事業費	82,583	354	0.1	0	0	0.0	△ 82,583	皆減	640	0.2
公債費		6,364,078	27,243	8.1	6,381,529	27,406	6.2	17,451	0.3	28,399	7.9
積立金・繰出金及び貸付金等		9,033,356	38,670	11.5	9,883,452	42,445	9.6	850,096	9.4	45,884	12.7
合　計		78,313,220	335,239	100.0	102,443,168	439,946	100.0	24,129,948	30.8	360,425	100.0

普通会計の歳出決算額は1,024億4,316万円で、前年度より241億2,994万円（30.8%）増加しています。

消費的経費は808億860万円で、前年度より258億9,461万円（47.2%）増加しており、決算構成比率は79.0%で、前年度より8.8ポイント上昇しています。

これは、物件費が104億6,981万円で前年度より9億21万円（7.9%）減少したものの、補助費等が309億535万円で同じく241億5,298万円（357.7%）、人件費が166億558万円で同じく15億9,264万円（10.6%）、その他が228億2,785万円で同じく10億4,919万円（4.8%）増加したことによるものです。

投資的経費は53億6,958万円で、前年度より26億3,221万円（32.9%）減少しており、決算構成比率は5.2%で、前年度より5.0ポイント下降しています。

これは、普通建設事業費が53億6,958万円で前年度より25億4,962万円（32.2%）、災害復旧事業費が0円で同じく8,258万円（皆減）減少したことによるものです。

公債費は63億8,152万円で、前年度より1,745万円（0.3%）増加しており、決算構成比率は6.2%で、前年度より1.9ポイント下降しています。

積立金・繰出金及び貸付金等は98億8,345万円で、前年度より8億5,009万円（9.4%）増加しており、決算構成比率は9.6%で、前年度より1.9ポイント下降しています。

これは、投資及び出資金・貸付金が6億4,600万円で前年度より5億15万円（342.9%）、積立金が11億5,991万円で同じく1億8,218万円（18.6%）、繰出金が80億7,754万円で同じく1億6,775万円（2.1%）増加したことによるものです。

4　増加一般財源の充当状況

普通会計における増加一般財源の充当状況は次頁の表のとおりです。

増加一般財源がどのような経費に充当されたかを見ることにより、財政構造の弾力性を測定することができます。すなわち、財政構造の弾力性を保持し、又は改善するためには、人件費、扶助費、公債費等硬直性の強い義務的経費に充当する一般財源をできる限り抑制する必要があります。増加一般財源充当状況表を見ると、歳入総額は250億1,565万円（31.5％）、一般財源合計額は12億5,374万円（2.4％）増加しています。

これは主に、一般財源としての基金取崩額が4億334万円（皆減）、国庫支出金等が3億2,037万円（47.2％）、市債が2億7,761万円（8.7％）減少したものの、利子割交付金等が9億8,440万円（23.7％）、諸収入が5億6,317万円（145.9％）、市税が2億8,723万円（0.8％）、純繰越金が1億2,282万円（32.6％）、繰越金（純繰越金を除く）が1億1,862万円（72,773.0％）増加したことによるものです。

経常一般財源収入は、前年度より11億210万円（2.6％）増加しており、経常経費充当一般財源は1億901万円（0.2％）増加しています。また、歳出における義務的経費（人件費、扶助費、公債費）充当一般財源を見ると、12億1,422万円（4.6％）増加しています。これは扶助費への一般財源充当額が4,761万円（0.7％）減少したものの、人件費への一般財源充当額が12億3,624万円（9.0％）、公債費への一般財源充当額が2,559万円（0.4％）増加したことによるものです。今後も義務的経費の増減、財政構造の弾力性確保については注視していく必要があります。

なお、一般財源の充当状況を性質別に見ると、前年度比較における主な増減としては、人件費が12億3,624万円（9.0％）、投資及び出資金・貸付金が5億4,997万円（19,641.8％）増加し、物件費が12億7,541万円（15.3％）、補助費等が2億7,624万円（4.7％）減少しています。

増加一般財源充当状況表　（普通会計）

（単位：千円、%）

区分		R1 (A) 総額	R1 (A) 一般財源	R2 (B) 総額	R2 (B) 一般財源	増減額 (B)-(A) 総額	増減額 (B)-(A) 一般財源	一般財源増減率
歳入	1 市税	35,899,554	35,899,554	36,186,790	36,186,790	287,236	287,236	0.8
	2 地方譲与税	406,169	406,169	411,633	411,633	5,464	5,464	1.3
	3 利子割交付金等	4,161,649	4,161,649	5,146,058	5,146,058	984,409	984,409	23.7
	4 地方交付税	4,246,186	4,246,186	4,361,333	4,361,333	115,147	115,147	2.7
	(1) 普通交付税	3,865,644	3,865,644	4,033,610	4,033,610	167,966	167,966	4.3
	(2) 特別交付税	380,542	380,542	327,723	327,723	△ 52,819	△ 52,819	△ 13.9
	5 分担金・負担金	966,024	0	669,009	0	△ 297,015	0	－
	6 使用料	1,890,741	443,587	1,625,107	448,541	△ 265,634	4,954	1.1
	7 手数料	341,973	0	325,917	0	△ 16,056	0	－
	8 国庫支出金等	14,289,892	679,059	39,894,289	358,683	25,604,397	△ 320,376	△ 47.2
	9 県支出金	5,988,164	1,465	6,059,582	69,897	71,418	68,432	4,671.1
	10 財産収入	326,005	323,389	299,900	297,342	△ 26,105	△ 26,047	△ 8.1
	11 寄附金	740,337	712,683	810,815	731,902	70,478	19,219	2.7
	12 繰入金（13を除く）	8,780	8,780	437	437	△ 8,343	△ 8,343	△ 95.0
	13 基金取崩額	970,889	403,347	417,405	0	△ 553,484	△ 403,347	皆減
	14 繰越金(純繰越金を除く)	461,485	163	591,984	118,783	130,499	118,620	72,773.0
	15 諸収入	1,574,614	385,891	2,094,327	949,067	519,713	563,176	145.9
	16 市債	6,755,565	3,196,065	5,026,273	2,918,447	△ 1,729,292	△ 277,618	△ 8.7
	小　計　(1～16)	79,028,027	50,867,987	103,920,859	51,998,913	24,892,832	1,130,926	2.2
	17 純繰越金	376,279	376,279	499,102	499,102	122,823	122,823	32.6
	歳入合計 (A)	79,404,306	51,244,266	104,419,961	52,498,015	25,015,655	1,253,749	2.4
	うち経常収入	62,856,439	42,481,334	64,282,853	43,583,440	1,426,414	1,102,106	2.6
歳出	1 人件費	15,012,937	13,722,751	16,605,581	14,958,993	1,592,644	1,236,242	9.0
	2 扶助費	21,172,732	6,351,511	22,166,270	6,303,897	993,538	△ 47,614	△ 0.7
	3 公債費	6,364,078	6,181,885	6,381,529	6,207,484	17,451	25,599	0.4
	うち繰上償還額	18,056	18,056	0	0	△ 18,056	△ 18,056	皆減
	4 物件費	11,370,034	8,360,798	10,469,815	7,085,380	△ 900,219	△ 1,275,418	△ 15.3
	5 維持補修費	605,921	579,039	661,582	612,028	55,661	32,989	5.7
	6 補助費等	6,752,364	5,904,467	30,905,353	5,628,219	24,152,989	△ 276,248	△ 4.7
	7 投資及び出資金・貸付金	145,843	28	646,000	550,000	500,157	549,972	1,964,185.7
	8 繰出金	7,909,784	6,442,829	8,077,542	6,529,100	167,758	86,271	1.3
	9 普通建設事業費	7,919,215	1,636,303	5,369,586	1,532,483	△ 2,549,629	△ 103,820	△ 6.3
	(1) 補助事業費	4,383,251	253,053	2,616,881	133,873	△ 1,766,370	△ 119,180	△ 47.1
	(2) 単独事業費	3,535,964	1,383,250	2,752,705	1,398,610	△ 783,259	15,360	1.1
	10 災害復旧事業費	82,583	155	0	0	△ 82,583	△ 155	皆減
	小　計　(1～10)	77,335,491	49,179,766	101,283,258	49,407,584	23,947,767	227,818	0.5
	11 積立金	977,729	974,966	1,159,910	1,114,501	182,181	139,535	14.3
	歳出合計 (B)	78,313,220	50,154,732	102,443,168	50,522,085	24,129,948	367,353	0.7
	うち経常経費	65,047,694	44,275,178	65,583,684	44,384,192	535,990	109,014	0.2
収支	差引 (A)-(B)	1,091,086	1,089,534	1,976,793	1,975,930	885,707	886,396	81.4
	翌年度に繰り越すべき財源	591,984	590,432	464,267	463,404	△ 127,717	△ 127,028	△ 21.5
	実質収支	499,102	499,102	1,512,526	1,512,526	1,013,424	1,013,424	203.0

（注）1　利子割交付金等には、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、環境性能割交付金、法人事業税交付金を含みます。

第４　資金収支（運用）状況

当年度における資金収支の状況及び各月末残高の保管（運用）状況は次表のとおりです。なお、歳計現金が一時的に不足した際、条例の定めるところにより、基金に属する現金を繰替運用しています。

月別資金収支状況

（単位　円）

区分 / 月別	収　入	（繰替運用）	支　出	（繰替返済）	資金振替 増	資金振替 減	月末残高	（繰替残額）
R2年 4月	7,833,821,181	4,800,000,000	5,448,458,447	0	300,000,000	500,000,000	2,475,859,692	4,800,000,000
5月	36,362,876,565	0	13,718,018,138	4,800,000,000	200,000,000	4,300,000,000	21,020,718,119	0
6月	15,424,345,424	0	32,487,009,409	0	600,000,000	1,300,000,000	3,258,054,134	0
7月	12,703,874,756	0	12,136,201,963	0	4,200,000,000	1,700,000,000	6,325,726,927	0
8月	11,905,492,268	0	13,335,594,093	0	1,800,000,000	3,000,000,000	3,695,625,102	0
9月	13,118,335,897	0	13,759,012,515	0	2,900,000,000	2,400,000,000	3,554,948,484	0
10月	8,555,385,263	0	12,770,524,292	0	2,200,000,000	400,000,000	1,139,809,455	0
11月	14,666,396,951	0	12,259,991,079	0	400,000,000	400,000,000	3,546,215,327	0
12月	14,249,032,359	0	14,156,557,483	0	700,000,000	2,100,000,000	2,238,690,203	0
R3年 1月	11,306,698,662	0	10,516,756,730	0	1,300,000,000	1,300,000,000	3,028,632,135	0
2月	11,050,183,878	2,900,000,000	11,980,054,589	0	1,500,000,000	600,000,000	2,998,761,424	2,900,000,000
3月	22,502,170,714	0	19,228,804,315	2,900,000,000	2,500,000,000	700,000,000	8,072,127,823	0
出納整理期間 4月	6,325,544,330	0	10,580,873,941	0	0	0	3,621,068,590	0
出納整理期間 5月	9,007,862,586	0	12,628,931,176	0	0	0	0	0
合　計	195,012,020,834	7,700,000,000	195,006,788,170	7,700,000,000	－	－	－	－

月別資金運用状況

（単位　円）

区分 / 月別	合　計	外貨預金	自由金利型定期預金	その他(貸付)	別段預金（未整理金等を含む）
R2 年 4月	3,130,445,149	0	0	200,000,000	2,930,445,149
5月	25,320,721,119	0	4,000,000,000	300,000,000	21,020,721,119
6月	8,258,054,134	0	4,000,000,000	1,000,000,000	3,258,054,134
7月	8,826,244,027	0	1,500,000,000	1,000,000,000	6,326,244,027
8月	7,395,625,102	0	2,500,000,000	1,200,000,000	3,695,625,102
9月	6,754,948,484	0	1,800,000,000	1,400,000,000	3,554,948,484
10月	2,539,809,455	0	0	1,400,000,000	1,139,809,455
11月	4,946,215,327	0	0	1,400,000,000	3,546,215,327
12月	5,079,625,262	0	1,000,000,000	1,800,000,000	2,279,625,262
R3 年 1月	5,828,632,135	0	1,000,000,000	1,800,000,000	3,028,632,135
2月	4,898,761,424	0	100,000,000	1,800,000,000	2,998,761,424
3月	8,172,131,963	0	100,000,000	0	8,072,131,963